

中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の

中・小連携の具体例

- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の連携とその実践を目指して
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の学習指導系統一覧
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「調理実習」例
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「布を使った物の製作」作品例
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例①(食生活に関する学習)
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例②(衣生活に関する学習)
- 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例③(住生活や環境に関する学習)
- 教科書で示す「ガイダンス」的な扱い
- 教科書で示す「食育」の連携(栄養学習の例)
- 他教科との関連と年間指導計画の例



私たちは、
子どもたちの未来を
大切にしたいと
願っています。

教科書・教材教具の
開発を通じて、
家庭科、技術・家庭科
教育を支援します。

授業をサポートする
開隆堂のサービス体制



も く じ

● 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の連携とその実践を目指して	2
● 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の学習指導系統一覧	4
● 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「調理実習」例	12
● 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「布を使った物の製作」作品例	14
● 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例①（食生活に関する学習）	16
● 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例②（衣生活に関する学習）	18
● 中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例③（住生活や環境に関する学習）	20
● 教科書で示す「ガイダンス」的な扱い	22
● 教科書で示す「食育」の連携（栄養学習の例）	23
● 他教科との関連と年間指導計画の例	24

中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の連携とその実践を目指して

中学校では、小学校での学習を踏まえ、問題解決的な学習を通して中学生としての生活の自立を図り、子育てや心の安らぎなどの家庭の機能を理解すると共に、これからの生活を展望し、課題をもって主体的によりよい生活を工夫できる能力と態度の育成を重視しています。

内容構成がA～Dの同一枠組みのため、中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭における内容の円滑な接続が可能になりましたが、肝心なのは、中・小学校の指導者が連携して、いかに教育効果を高めていくかということです。実践に際しては、中・小のA～Dの内容が、具体的にはどのように系統的かつ連続性をもっているのかなどについて、双方の指導者が互いに理解しておくことが極めて重要です。

中・小の連携を効果的に行う方策として具体的に考えられること

① 地域の中学校技術・家庭科と小学校家庭科の指導者が集まって、地域や児童・生徒の実態および発達段階を考慮しつつ、小学校5年から中学校3年までの5年間で育てたい「子ども像」や、各学年での指導の重点の置き方など、効果的に指導する手立てについて話し合う。

たとえば、中・小学校の指導者がそれぞれの年間指導計画を持ち寄り、話し合いの資料にすることによって、相互の指導観や教材観の理解が深まり、5年間の系統的な指導についても話し合うことができる。

② 互いに授業参観をしたり、場合によっては指導者の交流授業などを行ったりする。

③ 系統性や連続性のある指導を持続的に行うために適宜、中・小学校の合同研究会を実施する。

このほか、具体的にはさまざまな工夫が考えられますが、まずは、地域の中・小学校の指導者同士の話し合いの場をもつことが肝要でしょう。



次ページ以降に、中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の学習指導系統一覧や、教科書上での連携内容等を示しています。

中・小の連携を考える際の参考になれば幸いです。

平成24～27年度用教科書の構成	平成28年度用教科書の構成
A 家族・家庭と子どもの成長 1 わたしの成長と家族 2 わたしたちと家族・家庭と地域 3 幼児の生活と遊び 4 幼児とのふれ合い 5 これからのわたしと家族 学習のまとめ	A 家族・家庭と子どもの成長 わたしの成長と家族・地域 1 わたしたちと家族・家庭と地域 2 幼児の生活と遊び 3 幼児とのふれ合い 4 これからのわたしと家族 持続可能な社会をつくる 学習のまとめ
B 食生活と自立 1 健康と食生活 ・食品の概量と食品群別摂取量のめやす 2 食品の選択と保存 3 調理をしよう 4 地域の食材と食文化 学習のまとめ ・日本食品標準成分表	B 食生活と自立 1 健康と食生活 2 食品の選択と保存 3 調理をしよう 4 地域の食材と食文化 持続可能な社会をつくる 学習のまとめ ・日本食品標準成分表
C 衣生活・住生活と自立 ① 自分らしく着る・快適に着る 1 日常着の活用 ・ゆかたを着てみよう 2 日常着の手入れ ・いろいろな繊維 3 環境に配慮した衣生活 ② 快適に住まう 1 住まいのはたらき 2 安全な住まい 3 快適な住まい ③ 生活を豊かにする物をつくる 1 わたしや家族の生活を豊かにする工夫 2 布を用いた物の製作 学習のまとめ	C 衣生活・住生活と自立 ① 住生活の自立 1 住まいのはたらき 2 健康で安全な住まい 3 住まいと地域 持続可能な社会をつくる ② 衣生活の自立 1 日常着の活用 2 日常着の手入れ 3 布を用いた物の製作 持続可能な社会をつくる 学習のまとめ
D 身近な消費生活と環境 1 家庭生活と消費 2 商品の選択と購入 ・暮らしの中のマークを探してみよう 3 よりよい消費生活のために 4 環境に配慮した生活 学習のまとめ	D 身近な消費生活と環境 1 家庭生活と消費 2 商品の選択と購入 3 よりよい消費生活のために 4 環境に配慮した消費生活 学習のまとめ
生活の課題と実践 A 家族・家庭と子どもの成長 B 食生活と自立 C 衣生活・住生活と自立	生活の課題と実践 A 家族・家庭と子どもの成長 B 食生活と自立 C 衣生活・住生活と自立 [安全と省資源・省エネルギーも考えた課題]

中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の学習指導系統一覽

[内容の取扱い等]	■ 中学校技術・家庭「家庭分野」(1～3年) ■	● 小学校家庭 6年 ●	● 小学校家庭 5年 ●
<p>(中・小連携内容を中心に)</p> <p>中 家庭分野の学習は、小学校家庭科の学習を基盤として発展させるものであり、その連続性と系統性を重視しながら指導することが大切である。</p> <p>④ 小学校で指導する基礎的・基本的な知識・技能が中学校の学習に発展していくものとして明確に意識され、着実な定着につながることを目指している。</p>	<p>学習指導要領の目標</p> <p>家庭分野の目標 衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。</p>	<p>学習指導要領の目標</p> <p>教科の目標 衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にすることを旨とし、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p> <p>第5学年及び第6学年の目標 (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。 (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。 (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。</p>	
<p>(中・小連携内容を中心に)</p> <p>注記：右欄「学習内容」の枠囲み下の○付き小文字は、主な学習内容(新教科書参照)を表す。</p> <p>中 (1) ア 小学校家庭科の学習をふまえて、3学年間の見通しをもたせるためのガイダンスとして扱い、またA(2)・(3)の導入として関連を図って取り扱う。</p> <p>④ 5年の(1)ア 4年までの学習をふり返り、2学年間の見通しをもてるようにするためのガイダンスとして扱い、またA～Dの学習を貫く視点として各内容とも関連させて取り扱う。</p> <p>中 (1)～(2) これらの内容の指導に当たっては、小学校で学習した「A 家庭生活と家族」の内容(1)・(2)・(3)に関する基礎的・基本的な知識と技能などを基盤にして、適切な題材を設定し、相互に関連を図って総合的に展開できるように配慮する。</p> <p>④ (2) ア・イ, (3) ア・イ これらについては、5・6年ともB～Dの衣食住等の学習とも関連づけて取り扱う。</p> <p>注記 中学校で、二本線囲みの内容は選択事項を表す(3学年間で1または2事項を選択する)。</p>	<p>学習内容</p> <p>A 家族・家庭と子どもの成長</p> <p>(1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。 ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。 ○わたしの成長をたどる ○かけがえのない自分</p> <p>(2) 家庭と家族関係について、次の事項を指導する。 ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 ○家族・家庭のはたらき ○家庭生活を支える仕事 ○家庭のはたらきを安定させるために ○地域の人とのつながり ○地域の高齢者とのかかわり ○中学生と地域の活動</p> <p>イ これからの自分と家族とのかかわりに関心をもち、家族関係をよりよくする方法を考えること。 ○中学生の家族関係 ○家族関係の変化 ○これからのわたしと家族</p> <p>(3) 幼児の生活と家族について、次の事項を指導する。 ア 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。 イ 幼児の観察や遊び道具の製作などの活動を通して、幼児の遊びの意義について理解すること。 ウ 幼児と触れ合うなどの活動を通して、幼児への関心を深め、かかわり方を工夫し、計画を立てて実践できること。 ○発達とは ○体の発達とは ○発達の特徴 ○体の発達を支えるために ○言語・情緒・社会性の発達 ○幼児の成長と家族 ○生活習慣と家庭生活 ○基本的な生活習慣と社会的な生活習慣 ○子どもと地域 ○遊びの中で育つ ○遊びと人間関係の発達 ○遊び道具の役割 ○遊びを支える環境 ○幼児と遊ぶおもちゃづくり ○ふれ合う前の期待と不安 ○幼児とふれ合う準備をする ○幼児とのかかわり方を考えよう ○ふれ合い体験をする ○ふれ合い体験をふり返る ○ふれ合い体験のまとめ方を工夫する ○世代を超えた人びとと交流して</p> <p>工 家族又は幼児の生活に関心をもち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できること。 ○1日家事体験、幼児と遊ぶおもちゃづくり、地域の高齢者とのふれ合い、災害時への備え、幼児が安全に遊べる場所マップ等の多様な課題と実践</p>	<p>学習内容</p> <p>A 家庭生活と家族</p> <p>(2) 家庭生活と仕事について、次の事項を指導する。 ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること。 イ 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力すること。 ○生活時間を調べよう ○生活時間をくふうしよう ○家族といっしょに過ごす時間</p> <p>(3) 家族や近隣の人々とのかかわりについて、次の事項を指導する。 ア 家族との触れ合いや団らんを楽しむ工夫をすること。 ○楽しく、おいしい食事をくふうしよう ○わたしの気持ちを伝えよう</p> <p>イ 近隣の人々とのかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫すること。 ○わたしたちの生活と地域 ○地域社会でのルールやマナーについて</p>	<p>(1) 自分の成長と家族について、次の事項を指導する。 ア 自分の成長を自覚することを通して、家庭生活と家族の大切さに気付くこと。 ○ガイダンス ○自分の成長 ○家族の1日の生活を見つめる ○家族とのかかわり ○家族の大切さ</p> <p>(2) 家庭生活と仕事について、次の事項を指導する。 ア 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事ができること。 ○できることを増やそう ○家庭の仕事のいろいろ ○仕事の協力と分担 ○家族に協力して仕事をしよう</p> <p>(3) 家族や近隣の人々とのかかわりについて、次の事項を指導する。 ア 家族との触れ合いや団らんを楽しむ工夫をすること。 ○楽しく団らん(家族とのふれ合い) ○つながりを深めよう</p>

【内容の取扱い等】

(中・小連携内容を中心に)

注記：右欄「学習内容」の枠囲み下の○付き小文字は、主な学習内容(新教科書参照)を表す。

中 (1) ア
食事が果たす役割については、小学校における食事の役割と楽しい食事についての学習を踏まえ、生命の維持や健康の保持増進、成長などの食事の役割に加え、食事を共にすることにより人間関係を深めたり、文化を伝えたりする役割もあることを理解できるようにする。

④ (2)
B(1)・(3)の項目や給食の献立との関連を図り、日常生活に即して具体的に学習できるようにする。

中 (1) イ (2) ア ④ (2) ア・イ
中学校で学習する日本食品標準成分表や食事摂取基準、食品群別摂取量の目安などの学習につなげる内容として、小学校では五大栄養素の基礎的事項について扱うように配慮する。

中 (3) ④ (3)
生の肉や魚は小学校では扱わず、中学校で取り扱う。

④ 「食育」の充実
小学校においては、家庭科などの食に関する指導を中核として、教育活動全体で一貫した取り組みを推進することが大切。
家庭科教育では、食事を大切にす心、望ましい栄養や食事のとり方、食品の品質や安全性等に関する基礎知識、調理の基礎的・基本的な知識・技能などを総合的に育む観点から推進することが必要である。

中 (1)～(3)
これらの内容の指導に当たっては、小学校で学習した「B 日常の食事と調理の基礎」の内容(1)・(2)・(3)に関する基礎的・基本的な知識と技能などを基盤として、適切な題材を設定し、相互に関連を図って総合的に展開できるように配慮する。

注記 中学校で、二本線囲みの内容は選択事項を表す(3学年間で1または2事項を選択する)。

■ 中学校技術・家庭「家庭分野」(1～3年) ■

B 食生活と自立

(1) 中学生の食生活と栄養について、次の事項を指導する。
ア 自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考えること。
○食事の役割 ○健康と食生活 ○食事のしかた

イ 栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考えること。
○栄養素の種類とはたらき ○水分と食物繊維
○中学生に必要な栄養素 ○食品群別摂取量のめやす

(2) 日常食の献立と食品の選び方について、次の事項を指導する。
ア 食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知ること。
○中学生に必要な栄養素 ○食品と栄養素 ○6つの基礎食品群
○食品群別摂取量のめやす ○実物の食品のおよその重さを知ろう

イ 中学生の1日分の献立を考えること。
○献立の立て方

ウ 食品の品質を見分け、用途に応じて選択できること。
○食品の選択と保存 ○生鮮食品 ○加工食品
○食品の表示 ○食品添加物の表示と種類 ○加工食品の選択と購入
○食品の保存のしかた ○食品の安全を守る ○食の情報の判断

(3) 日常食の調理と地域の食文化について、次の事項を指導する。
ア 基礎的な日常食の調理ができること。また、安全と衛生に留意し、食品や調理用具等の適切な管理ができること。
○調理のポイント ○調理の流れと手順 ○環境に配慮した調理 ○調理の基本
○肉の調理(肉の特徴、調理上の性質、衛生的な扱い、調理実習例)
○魚の調理(魚の特徴、調理上の性質、衛生的な扱い、調理実習例)
○野菜の調理(野菜の特徴、調理上の性質、野菜の色の变化、調理実習例)

イ 地域の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解すること。
○地域の食材と食文化 ○郷土料理 ○行事食 ○日本の食料事情を考える
○食生活と環境とのかかわり ○災害にあった時の食事は?

ウ 食生活に関心を持ち、課題をもって日常食又は地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できること。
○1日3食の献立を立てて、食事をつくる、おせち料理を研究する、1食分の調理、家族のための食事づくり、食品の情報を調べる、加工食品と手づくり料理の比較等の多様な課題と実践

● 小学校家庭 6年 ●

B 日常の食事と調理の基礎

(1) 食事の役割について、次の事項を指導する。
ア 食事の役割を知り、日常の食事の大切さに気付くこと。
○朝食を考えよう

イ 楽しく食事をするための工夫をすること。
○楽しく、おいしい食事をくふうしよう
○食事のマナー(食事のあいさつ・食べ方・会話など)

(2) 栄養を考えた食事について、次の事項を指導する。
ウ 1食分の献立を考えること。
○1食分のこんだてを考えよう
○栄養のバランスを確かめよう

(3) 調理の基礎について、次の事項を指導する。
ア 調理に関心を持ち、必要な材料の分量や手順を考えて、調理計画を立てること。
○フライパンを使いたいための調理や、じゃがいもの調理の調理計画、材料と分量、用具・器具・食器、調理手順

イ 材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けが適切にできること。
○フライパンを使いたいための調理や、じゃがいもの調理の材料の洗い方・切り方・味つけ、盛りつけ・配ぜん・試食・あとかたづけ

ウ ゆでたり、いためたりして調理ができること。
○スクランブルエッグ ○三色野菜いため
○じゃがいもを使いたいいろいろな調理

オ 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱い及びこんろの安全な取扱いができること。
○用具・食器の衛生的な使い方、安全な使い方
○ガスこんろの安全な使い方

● 小学校家庭 5年 ●

(1) 食事の役割について、次の事項を指導する。
ア 食事の役割を知り、日常の食事の大切さに気付くこと。
○なぜ食べるのか考えよう

イ 楽しく食事をするための工夫をすること。
○楽しい食事 ○お茶の入れ方
○食事のマナー(食事のあいさつ・食べ方・会話など)
○茶わん・はしの持ち方

(2) 栄養を考えた食事について、次の事項を指導する。
ア 体に必要な栄養素の種類と働きについて知ること。
○五大栄養素のはたらき

イ 食品の栄養的特徴を知り、食品を組み合わせると必要があることが分かること。
○食品の体内ではたらき
○3つの食品のグループとそのはたらき
○栄養のバランスのよい食事

(3) 調理の基礎について、次の事項を指導する。
ア 調理に関心を持ち、必要な材料の分量や手順を考えて、調理計画を立てること。
○ゆで卵、野菜をゆでる、野菜をゆでる調理、ご飯・みそしるの調理計画+材料と分量、用具・器具・食器、調理手順

イ 材料の洗い方、切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けが適切にできること。
○ゆで卵、野菜をゆでる、野菜をゆでる調理、ご飯・みそしるの材料の洗い方・切り方・味つけ、盛りつけ・配ぜん・試食・あとかたづけ

ウ ゆでたり、いためたりして調理ができること。
○ゆで卵の調理 ○野菜をゆでる、野菜をゆでる調理

エ 米飯及びみそ汁の調理ができること。
○伝統的な日常食 ○ご飯たき ○みそしるづくり

オ 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取り扱い及びこんろの安全な取扱いができること。
○用具・食器の衛生的な使い方、安全な使い方
○ガスこんろの安全な使い方

[内容の取扱い等]
(中・小連携内容を中心に)
<p>注記：右欄「学習内容」の枠囲み下の○付き小文字は、主な学習内容(新教科書参照)を表す。</p>
<p>中 (1) ア 小学校家庭科で学習した保健衛生上の着方と生活活動上の着方を踏まえて、衣服の社会生活上の機能を中心に理解し、時・場所・場合に応じた衣服の着用や個性を生かす着用の工夫ができるようにする。</p>
<p>④ (1) イ C(2)・(3)の項目と相互に関連を図ることが考えられる。 イの洗濯では、D(1)と関連づけて、既製服の表示調べをしたあと洗濯の学習を行い、さらに洗濯水や洗剤と関連づけて(2)の環境学習に発展させることも考えられる。 なお、洗剤のはたらきは中学校で学習するので、小学校では身近な環境への影響を考えた洗剤量などを中心に扱う。</p>
<p>中 (2) 小学校の暑さ・寒さ、通風・換気・採光に重点をおいた快適な室内環境の整え方についての学習を踏まえ、中学校では、安全に重点をおいた室内環境の整え方について取り扱うこととする。</p>
<p>④ (3) 製作題材は指定していないので、2学年間を見通して、平易なものから段階的に題材を発展させながら、基礎的・基本的な技能の定着を図るようにする。</p>
<p>中 (3) ア 指導にあたっては、まつり縫いなどの補修の際に学習する技術を製作品に取り入れるようにするなど、C(1)ウと関連させて扱うようにしたり、小学校で学んだ基礎的・基本的な知識と技能などを発展させ、効果的に活用したりして製作ができるようにする。</p>
<p>中 (1)～(3) これらの内容の指導にあたっては、小学校で学習した「C 快適な衣服と住まい」の内容(1)・(2)・(3)に関する基礎的・基本的な知識と技能などを基盤にして、適切な題材を設定し、相互に関連を図って総合的に展開できるように配慮する。</p>
<p>注記 中学校で、二本線囲みの内容は選択事項を表す(3学年間で1または2事項を選択する)。</p>

■ 中学校技術・家庭「家庭分野」(1～3年) ■
C 衣生活・住生活と自立
<p>(1) 衣服の選択と手入れについて、次の事項を指導する。 ア 衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用の工夫ができること。</p> <p>○自分らしい着方 ○衣服を着る目的 ○社会生活上のはたらき ○自分らしさと目的を考えた服装 ○立体構成と平面構成 ○伝統に息づく和服の文化 ○ゆかたを着てみよう</p>
<p>イ 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができること。 ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができること。</p> <p>○衣服の点検と入手 ○既製服の選び方 ○既製服の表示の種類と意味 ○衣服の汚れ ○汚れを落とす理由 ○手入れの方法 ○衣服素材に適した手入れ ○取扱説明表示 ○衣服の素材、組織 ○洗濯 ○洗剤の種類と量 ○アイロンかけ ○衣服の収納・保管 ○補修の必要性 ○スナップ ○ほころび直し ○まつり縫い</p>
<p>(2) 住居の機能と住まい方について、次の事項を指導する。 ア 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ること。</p> <p>○住まいの役割 ○住まいに必要な空間 ○みんなで住むためのルール ○住まい方の工夫</p>
<p>イ 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること。</p> <p>○室内空気の汚染 ○換気的重要性 ○家庭内での事故と安全対策 ○自然災害と安全対策 ○住まいの地震対策 ○仮設住宅でのコミュニティ形成 ○自分らしい暮らし方 ○地域の助け合いの重要性 ○近隣と騒音 ○防音に効果的な工夫 ○これからの住生活と環境</p>
<p>(3) 衣生活、住生活などの生活の工夫について、次の事項を指導する。 ア 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができること。</p> <p>○製作の計画 ○布を用いた物の製作(必要な用具類、手順と要点、布の準備、針と糸の準備、型紙、しるしつけ、裁縫、ミシンの準備) ○製作して活用しよう(道具類を大切にしまおう、外出に便利なものをつくろう、おしゃれなカバーをつくろう、身近にある布を生かして小物をつくろう、災害時に役立つものをつくろう、日常着をつくろう) ○環境に配慮した衣生活</p>
<p>イ 衣服又は住まいに関心をもち、課題をもって衣生活又は住生活について工夫し、計画を立てて実践できること。</p> <p>○家の安全対策チェック、収納の工夫、ファッション調べ、ワイシャツをエプロンにリメイク、和装のTPOを調べる、バリアフリーやユニバーサルデザインを調べる、草木染でエコバッグ、「おもてなし」を工夫する等の多様な課題と実践</p>

● 小学校家庭 6年 ●
C 快適な衣服と住まい
<p>(1) 衣服の着用と手入れについて、次の事項を指導する。 ア 衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること。</p> <p>○すずしい着方を考えよう ○衣服を清潔に整えよう</p>
<p>イ 日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯ができること。</p> <p>○衣服のよごれと手入れの必要性 ○手入れの手順 ○衣服の取り扱い説明表示 ○洗たくをしてみよう</p>
<p>(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。 ア 住まい方に関心をもって、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること。</p> <p>○身の回りのよごれ調べ ○そうじの手順とそうじのしかた</p>
<p>イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。</p> <p>○自然を生かした住まい方 ○すずしい住まい方のくふう(通風、すずしく過ごすためのいろいろなくふう、効率的なエネルギーの利用)</p>
<p>(3) 生活に役立つ物の製作について、次の事項を指導する。 ア 布を用いて製作する物を考え、形などを工夫し、製作計画を立てること。</p> <p>○生活を楽しくする作品づくりの構想・計画・手順など</p>
<p>イ 手縫いや、ミシンを用いた直線縫いにより目的に応じた縫い方を考えて製作し、活用できること。</p> <p>○生活を楽しくする作品づくり—マイバッグ、ナップザック、エプロン、カフェエプロンなどのつくり方</p>
<p>ウ 製作に必要な用具の安全な取扱いができること。</p> <p>○製作に必要な用具 ○針やはさみ、アイロン、ミシンなどの使い方と安全な取扱い</p>

● 小学校家庭 5年 ●
<p>(1) 衣服の着用と手入れについて、次の事項を指導する。 ア 衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること。</p> <p>○あたたかい着方をくふうしよう ○衣服のはたらきを考えよう</p>
<p>イ 日常着の手入れが必要であることが分かり、ボタン付けや洗濯ができること。</p> <p>○ボタンつけ(小物づくり)</p>
<p>(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。 ア 住まい方に関心をもって、整理・整頓や清掃の仕方が分かり工夫できること。</p> <p>○身の回りに目を向けよう ○整理・整頓をしよう ○整理・整頓の手順 ○物を生かすくふうをしよう</p>
<p>イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。</p> <p>○自然を生かした住まい方 ○あたたかく明るい住まい方のくふう(採光・照明、暖房器具の安全・かん気)</p>
<p>(3) 生活に役立つ物の製作について、次の事項を指導する。 ア 布を用いて製作する物を考え、形などを工夫し、製作計画を立てること。</p> <p>○ネームプレートや小物づくりの構想・計画・手順など</p>
<p>イ 手縫いや、ミシンを用いた直線縫いにより目的に応じた縫い方を考えて製作し、活用できること。</p> <p>○玉結び・玉どめ ○手ぬいのしかた ○ネームプレートや小物づくり ○ミシンぬいのしかた ○ランチョンマットやクッション、まくらカバーなどのつくり方</p>
<p>ウ 製作に必要な用具の安全な取扱いができること。</p> <p>○製作に必要な用具 ○針やはさみ、アイロン、ミシンなどの使い方と安全な取扱い</p>

[内容の取扱い等]	■ 中学校技術・家庭「家庭分野」(1～3年) ■
<p>(中・小連携内容を中心に)</p> <p>注記：右欄「学習内容」の枠囲み下の○付き小文字は、主な学習内容(新教科書参照)を表す。</p> <p>中 (1) ア・イ 内容A・B・Cの学習との関連を図り、実践的に学習できるようにする。また、中学生の身近な消費行動と関連させて扱うこと。</p> <p>④ (1) イ 買い物の学習では、A(3)の困らんのための買い物や、B(3)の調理の材料の選択・購入、C(2)の持ち物の見直し学習、C(3)の材料・用具の選択・購入などと関連させて展開させることが考えられる。</p> <p>中 (1)・(2) 小学校で学習したD(1)・(2)の内容を基盤にし、中学校A・B・Cの学習と関連を図り総合的に展開できるように配慮する。</p> <p>注記 中学校で、二本線囲みの内容は選択事項を表す(3学年間で1または2事項を選択する)。</p>	<p>D 身近な消費生活と環境</p> <p>(1) 家庭生活と消費について、次の事項を指導する。 ア 自分や家族の消費生活に関心をもち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。</p> <p>○物資とサービス ○中学生も消費者 ○契約 ○契約に伴う権利と義務 ○消費生活のトラブル ○悪質な契約 ○中学生に多い消費生活のトラブル ○消費者を支える法律と制度 ○消費者を支える機関 ○消費者の権利と責任 ○購入は投票行為 ○消費者としての自覚 ○環境に配慮した消費行動 ○自立した消費者になるために</p> <p>イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。</p> <p>○必要なものほしいもの ○購入以外の方法 ○商品の選択 ○商品の購入 ○消費行動のふり返りと評価 ○生活情報の活用 ○表示とマーク ○いろいろな購入方法 ○いろいろな支払い方法 ○暮らしの中のマーク</p> <p>(2) 家庭生活と環境について、次の事項を指導する。 ア 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できること。</p> <p>○省エネで守る環境 ○生活排水をきれいに ○循環型社会 ○3R、5Rの取り組み ○持続可能な社会 ○エネルギーについて考えよう ○生活スタイルを考えよう</p>

内容の取扱い
<p>(1) 内容の「A 家族・家庭と子どもの成長」については、次のとおり取り扱うものとする。 ア (1)、(2)及び(3)については、相互に関連を図り、実習や観察、ロールプレイングなどの学習活動を中心とするよう留意すること。 イ (2)のイについては、高齢者などの地域の人々とのかわりについて触れるよう留意すること。 ウ (3)のイについては、幼児期における周囲との基本的な信頼関係や生活習慣の形成の重要性についても扱うこと。 (3)のウについては、幼稚園や保育所等の幼児との触れ合いができるよう留意すること。</p> <p>(2) 内容の「B 食生活と自立」については、次のとおり取り扱うものとする。 ア (1)のイについては、水の働きや食物繊維についても触れること。 イ (2)のウについては、主として調理実習で用いる生鮮食品と加工食品の良否や表示を扱うこと。 ウ (3)のイについては、魚、肉、野菜を中心として扱い、基礎的な題材を取り上げること。 (3)のイについては、調理実習を中心とし、主として地域又は季節の食材を利用することの意義について扱うこと。 また、地域の伝統的な行事食や郷土料理を扱うこともできること。 エ 食に関する指導については、技術・家庭科の特質に応じて、食育の充実に資するよう配慮すること。</p> <p>(3) 内容の「C 衣生活・住生活と自立」については、次のとおり取り扱うものとする。 ア (1)のイについては、和服の基本的な着装を扱うこともできること。(1)のウについては、既製服の表示と選択に当たっての留意事項を扱うこと。(1)のウについては、日常着の手入れは主として洗濯と補修を扱うこと。 イ (2)のイについては、簡単な図などによる住空間の構想を扱うこと。 ウ (3)のイについては、(1)のウとの関連を図り、主として補修の技術を生かしてできる製作品を扱うこと。</p> <p>(4) 内容の「D 身近な消費生活と環境」については、次のとおり取り扱うものとする。 ア 内容の「A 家族・家庭と子どもの成長」、「B 食生活と自立」又は「C 衣生活・住生活と自立」の学習との関連を図り、実践的に学習できるようにすること。 イ (1)については、中学生の身近な消費行動と関連させて扱うこと。</p>

● 小学校家庭 6年 ●	● 小学校家庭 5年 ●
<p>D 身近な消費生活と環境</p> <p>(1) 物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。 イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。</p> <p>○食品の表示と選び方 ○衣服の布地の表示・取扱い絵表示</p> <p>(2) 環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。 ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などを工夫できること。</p> <p>○不用品の活用、リサイクル・リユース、油よごれのしまつ、洗たく用洗ざいの使用量など ○環境を考えた生活の工夫 ○地域のルールやマナー</p>	<p>(1) 物や金銭の使い方と買物について、次の事項を指導する。 ア 物や金銭の大切さに気づき、計画的な使い方を考えること。</p> <p>○わたしたちの生活とお金 ○お金や物の使い方を考えよう</p> <p>イ 身近な物の選び方、買い方を考え、適切に購入できること。</p> <p>○買い物のしかたを考えよう ○いろいろな買い方や支払い方</p> <p>(2) 環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。 ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などを工夫できること。</p> <p>○ガス・水の節約、ごみの減量や分別、布地の有効な使い方、不用品の活用、かしい買い物、節電など</p>

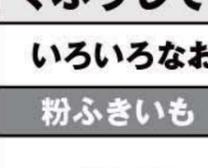
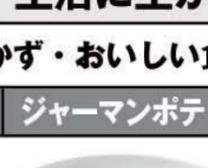
内容の取扱い等
<p>内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 「B 日常の食事と調理の基礎」については、次のとおり取り扱うこと。 ア (2)のイ及びイについては、五大栄養素と食品の体内での主な働きを中心に扱うこと。 イ (3)のイについては、米飯やみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることにも触れること。 ウ 食に関する指導については、家庭科の特質に応じて、食育の充実に資するよう配慮すること。</p> <p>(2) 「C 快適な衣服と住まい」の(2)のイについては、主として暑さ・寒さ、通風・換気及び採光を取り上げること。</p> <p>(3) 「D 身近な消費生活と環境」については、次のとおり取り扱うこと。 ア (1)のイについては、「A 家庭生活と家族」の(3)、「B 日常の食事と調理の基礎」の(3)並びに「C 快適な衣服と住まい」の(2)及び(3)で扱う用具や実習材料などの身近な物を取り上げること。 イ (2)については、「B 日常の食事と調理の基礎」又は「C 快適な衣服と住まい」との関連を図り、実践的に学習できるようにすること。</p> <p>実習の指導については、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 服装を整え、用具の手入れや保管を適切に行うこと。 (2) 事故の防止に留意して、熱源や用具、機械などを取り扱うこと。 (3) 調理に用いる食品については、生の魚や肉は扱わないなど、安全・衛生に留意すること。</p> <p>家庭との連携 家庭との連携を図り、児童が身に付けたい知識及び技能などを日常生活に活用するよう配慮するものとする。</p> <p>言語活動の充実と家庭科 各内容の指導に当たっては、衣食住など生活の中のさまざまな言葉を実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮するものとする。</p>

■中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「調理実習」例

テーマ 題材	肉の調理		魚の調理		野菜の調理	
		しょうが焼き	煮魚	ムニエル	青菜の卵とじ (または青菜のごまあえ)	
実習例とおもなポイント						
	★しょうが汁に肉をつけるとやわらかくなり、生臭みもとれる。 ★肉は焼くと固くなり、肉汁が出て重量が減る。	★落としぶたをすると、少ない煮汁でも効率よく加熱や味付けができる。 ★しょうがやみそは、生臭さをおさえるはたらきをする。	★小麦粉は、加熱によって魚のうま味を包みこむ膜になり、香ばしさを増す。 ★はじめに強火で焼いて表面のたんぱく質を固め、うま味を逃さないようにする。	★沸とうした湯に青菜を茎のほうから入れ、ざつとゆでる。		
	煮込みハンバーグ(またはハンバーグステーキ)	焼き魚	つみれ汁	けんちん汁 (またはとん汁)		
						
	★ひき肉に塩を加えてこねると粘りが出る。こねる回数が少ないと、ぼろぼろしてすれやすく、多過ぎると加熱後に固く縮む。 ★ひき肉の中に空気が入らないように、手に打ちつけるようにして空気をぬいて丸める。	★魚に塩をふってしばらくおくと、水分が出て生臭さがとれ、身がしまる。 ★盛りつけたときに表になる面から焼く。表面を強火で焼いてこげめをつけ、弱火でじっくりと火を通す。	★魚肉に塩を加えてよくこねると粘りが出る。 ★魚肉だんごは、熱湯に入れて外側を固め、くずれるのを防ぐ。	★にんじん、ごぼうなどの固い野菜を先に加熱する。		
	筑前煮					
						
	★ひき肉に塩を加えてよくこねると粘りが出る。 ★魚肉だんごは、熱湯に入れて外側を固め、くずれるのを防ぐ。					
	牛丼	シチュー	かぼ焼き	ミネストローネ		
						
★たまねぎの煮くずれを防ぐため、繊維の方向にそってくし形切りにする。 ★牛肉がかたくなり過ぎないように、火が通ったらすぐ火をとめる。	★肉のうま味や栄養分を逃がさないように、肉の表面を焼く。 ★小麦粉を加え煮込むと、汁にとろみがつく。	★かたくり粉で、魚のうま味と栄養分を閉じこめる。 ★かたくり粉の衣がついていると、たれがよくからみ、口あたりがなめらかになる。	★沸とうしたら火を弱めて、あくをすくいと、り、やわらかくなるまで煮る。			
電子レンジを使ってみよう						
●きんぴらごぼう ●ピーマンのナムル	●ジャーマンポテト ●野菜のグラタン風					

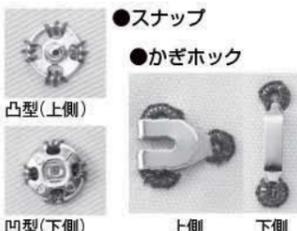
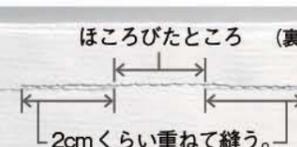
テーマ 題材	第5学年 「生活を見つめ、できることを増やしていこう」				
	はじめての調理 (ゆでる調理/5年生のスタート)			ご飯とみそしる	
ゆで卵	ゆで青菜	ゆで野菜サラダ	ご飯	みそしる	
					
★ガスこんろの安全な使用 ★卵や野菜をゆでる ★あとかたづけ ★生ごみのあとしまつ			★米の計量 ★水加減 ★米の吸水 ★火加減の調節 ★むらす		
			★だしをとる ★実を適切な大きさに切る ★実を入れる順序 ★みそを入れるタイミング		

【注記】 開隆堂の教科書で取り上げた例。小学校の*印のフライパンを使った調理、**印のじゃがいも調理は、それぞれの中から一つを実習。中学校は肉・魚・野菜を中心に日常よく用いられる卵やいも類などを取り上げた調理実習を扱い、「日常食の献立と食品の選び方」の学習との関連を図る。

あと1品		発展：弁当	発展：お菓子	小麦粉を使った郷土料理	備蓄材料を使って
かきたま汁	かぼちゃの煮もの	おにぎり弁当	いももち	手打ちうどん	切り干しだいこんとツナのサラダ
					
大豆とひじきの煮もの	コーンスープ	スクランブルエッグサンド弁当	牛乳かん	生活の課題と実践の例	
				加工食品と手づくり食品 (炒飯の例)	
じゃがいものサラダ	ポトフ	さけの塩焼き弁当	わらびもち	加工食品と手づくり食品 (炒飯の例)	
				加工食品と手づくり食品 (炒飯の例)	
わかめスープ	とり肉とだいこんの煮もの	しょうが焼き弁当	カップケーキ	(手づくり食品) (加工食品・冷凍)	
				1食分の調理	
電子レンジを使ってみよう		アスパラガスのチーズ巻き	プリン	1食分の調理	
●きんぴらごぼう ●ピーマンのナムル				1食分の調理	
		さつまいもの甘辛焼き	スイートポテト	1食分の調理	
				1食分の調理	
		こんにゃくのピリ辛煮	・プチお好み焼き ・プチケーキ	1食分の調理	
				1食分の調理	
		コールスロー	たまねぎとししとうがらしのいためもの	エコクッキング (ラタトゥイユ)	
				エコクッキング (ラタトゥイユ)	
		キャベツと塩こんぶの浅づけ	にんじんのグラッセ	エコクッキング (ラタトゥイユ)	
				エコクッキング (ラタトゥイユ)	
		おせち料理		エコクッキング (ラタトゥイユ)	
				エコクッキング (ラタトゥイユ)	
		ツナポテトサラダ		エコクッキング (ラタトゥイユ)	
				エコクッキング (ラタトゥイユ)	
		発展 (焼く調理) 目玉焼き		エコクッキング (ラタトゥイユ)	
				エコクッキング (ラタトゥイユ)	
		★油よごれの用具・食器のあとしまつ ★材料のいろいろな切り方 ★材料によるいため方のちがひ		★じゃがいもの皮むき ★大きさをそろえてじゃがいもを切る ★味つけをする	

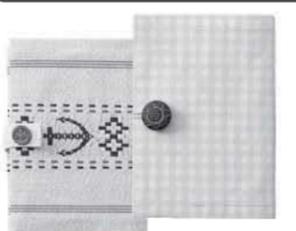
第6学年 「くふうして、生活に生かそう」				
朝食のおかず* (いためる調理)		いろいろなおかず・おいしい食事** (6年生のまとめ)		
スクランブルエッグ	三色野菜の油いため	粉ふきいも	ジャーマンポテト	その他の調理例
				
★油よごれの用具・食器のあとしまつ ★材料のいろいろな切り方 ★材料によるいため方のちがひ		★じゃがいもの皮むき ★大きさをそろえてじゃがいもを切る ★味つけをする		

技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「布を使った物の製作」

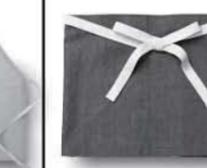
テーマ 題材	衣服の補修		布を使った物の製作		
		スナップ・かぎホックつけ	道具入れ	ショルダーバッグ	
中学校技術・家庭「家庭分野」 製作例とおもなポイント	 <ul style="list-style-type: none"> ●スナップ ●かぎホック <p>凸型(上側) 凹型(下側) 上側 下側</p>	 <p>★しょうぶで伸びない布でつくる。</p> <p>カフェエプロン</p> <p>【応用例】</p>	 <p>★ふた部分と本体を別の布を用いて2色使いにすることも可能。</p> <p>まちありショルダーバッグ</p> <p>【応用例】</p>		
	<p>ほころび直し</p>  <p>ほころびたところ (裏)</p> <p>2cmくらい重ねて縫う。</p> <p>★ミシンで、ほかのところと同じ位の針目で縫う。</p>	 <p>【応用例】</p> <p>ウォールポケット</p> 	 <p>ペットボトルフォルダー</p> <p>★使わないで、しまったままになっているハンドタオルや手ぬぐい、小ぶろしき、ひもなどを活用。</p>		
	<p>すそ上げ(まつり縫い)</p>  <p>★糸は1本どりで、必ず縫いしろの裏から針を出す。針を出すのは、布端から0.2cmの位置。</p>	<p>防災リュック</p>  <p>★ロックミシン、ミシン縫い、スナップつけ、差し込みバックルつけなど。</p>			

作品例

【注記】 開隆堂の教科書で取り上げた例。小学校の*印および**印の作品は、それぞれの中から一つを製作。

生活の課題と実践例		
<p>ファイルカバー</p>  <p>★とめ具をスナップやボタンなどで工夫。</p> <p>【応用例】</p> <p>ブックカバー</p> 	<p>ワイシャツをエプロンにリメイク</p>  <p>★ワイシャツを生かす型紙配置を考える。</p> <p>草木染でエコバッグ</p>  <p>★しみがついたTシャツを再利用し、たまねぎの皮で染める。</p>	<p>リフォームで防災グッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災頭巾 ●なべつかみ ●簡易スリッパ 
<p>ハーフパンツ</p>  <p>★すその縫いしろの裁断に気をつける。 ★また上の縫い方、前後また下のまち針のとめ方。</p>	<p>残り布を使って</p> <ul style="list-style-type: none"> ●エコバッグ ●ハンカチで小物入れ ●ぬいぐるみの洋服 	<p>参考</p> <p>結んでみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ちょう結び ●真結び  <p>指編みのアクリルたわし</p>  <p>★洗剤を使わなくても汚れを落とすことができる。</p> 

テーマ 題材	第5学年 「できることを増やしていこう」				
		針と糸にチャレンジ(5年生のスタート)		ミシン縫いにチャレンジ*	
小学校家庭 製作例と技能	ネームプレート	①カード入れ	②ティッシュペーパー入れ	ランチョンマット	クッション
	 <p>★針に糸を通す ★玉結び・玉どめ ★ぬい取り ★ボタンつけ ★針やはさみの安全な使用</p>	 <p>★ボタンつけ ★なみ縫い ★本返し縫い ★半返し縫い ★かがり縫い</p>	 <p>★まち針のとめ方 ★しるしつけ</p>	 <p>★ミシン縫いのしかた ★型紙づくり ★布の裁ち方 ★しるしつけ ★しつけのしかた</p>	 <p>★角の縫い方 ★返し口の縫い方 ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用 ★綿の入れ方</p>

第6学年 「くふうして、生活に生かそう」					
生活を楽しくするものをつくろう**					
マルチカバー	まくらカバー	マイバッグ	ナップザック	エプロン	カフェエプロン
 <p>★まち針のとめ方 ★三つ折り縫い ★ミシンの直線縫い ★角の縫い方</p>	 <p>★ミシンの直線縫い ★重なり部分の縫い方 ★出し入れ口の縫い方 ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用</p>	 <p>★型紙と布の合わせ方 ★三つ折り縫い ★出し入れ口の縫い方 ★ひもの縫いつけ方 ★ミシンの安全な使用</p>	 <p>★出し入れ口の縫い方 ★ミシンの直線縫い ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用 ★ひもの通し方</p>	 <p>★ミシンの直線縫い ★ポケットのつけ方 ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用 ★ひもの通し方、つけ方</p>	 <p>★三つ折り縫い ★ミシンの直線縫い ★ひもの縫いつけ方 ★ミシンの安全な使用 ★アイロンの安全な使用</p>

中学校技術・家庭「家庭分野」と小学校家庭の「実験・観察」例

中学校技術・家庭「家庭分野」

小学校家庭

加熱による青菜のかさと色の変化

(P.119)

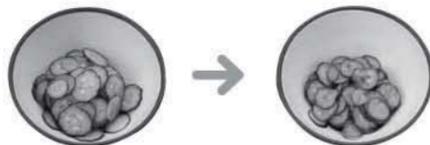


ほうれんそう2株



塩を加えたきゅうりの変化 (浸透)

(P.119)



塩をふる前

塩をふり、あえた後 (5分後)

ごぼうの色の变化

(P.119)

ささがきにしたらごぼう



水につけたもの

水につけないもの

食物繊維

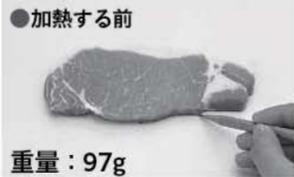
(P.66)



しょうが

肉の加熱による変化

(P.103)



重量：97g

●表と裏を3分ずつ焼いた後



重量：79g

こね方によるひき肉の変化

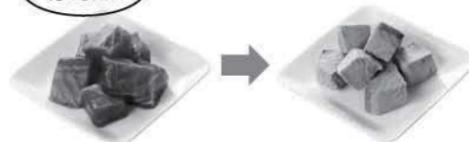
(P.103)



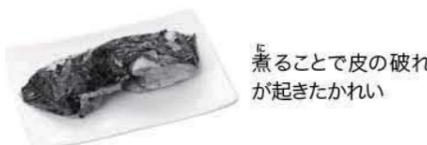
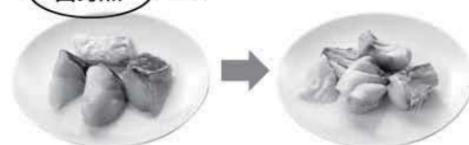
魚の加熱による変化

(P.111)

赤身魚 かつお



白身魚 たら



煮ることで皮の破れが起きたか

① (食生活に関する学習)

注記 開隆堂の教科書で取り上げた主な実験・観察例。

発展 食品に含まれる成分を、目で見て確かめよう!

(P.71)

ビタミンC

きざんだ食品を水に入れ、ヨウ素の色が消えるようすを見てみよう。

▶ビタミンCは、ヨウ素溶液の色を消す。*2

方法



②ヨウ素溶液を1滴ずつスポイトで加えてかき混ぜ、色が消えるかどうかを見る。

*2 ビタミンCは、酸化されやすく、ヨウ素を還元して、無色にする。

食物繊維

食物繊維(水溶性)を含む部分を取り出してみよう。

方法



①果物や野菜(100g)を薄く切り、100mLの水で5分間煮る。

②煮汁を冷まし、同量のエタノールを加える(火気に気をつける)。

③水溶性の食物繊維(ペクチン)が固まる。
食物繊維(水溶性)

発展 「おいしさ」とは

(P.99)

おいしさを五感で感じよう。



実 験 香りとは関係している 鼻をつまんで味わおう

- ①キャンディー*を用意して、鼻をつまんで口に入れ、味わってみよう。
 - ②鼻をつまんだ手をはなして、印象が変わるか感じてみよう。
- *キャンディーの他にも、チーズ、きゅうり、りんご、つけものなどでも試してみよう。

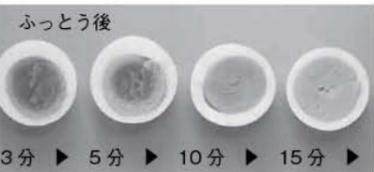
口と鼻はのどの奥でつながっています。鼻をつまむと口からの空気の流れが嗅覚を刺激しないので、鼻をつまんで食べた感覚と鼻をつままずに味わう感覚がちがいます。舌と香りの両方で感じる味を「風味」といいます。

実 験 だし汁の味を比較してみよう

- ①煮干し
 - ②かつおぶし
 - ③こんぶ
- これらのだしからだし汁をつくり、だし汁の重量の0.8%の塩分を加える。それぞれのだしの味を比較し、どのようなちがいがあるか言葉に表してみよう。

卵のゆで時間と固まり具合

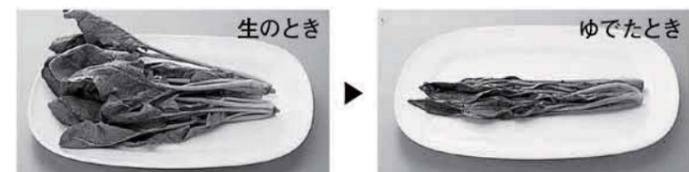
(P.12)



3分 ▶ 5分 ▶ 10分 ▶ 15分 ▶

生のときとゆでたときのちがい (かさの変化)

(P.13)



生のとき

ゆでたとき

たく前の米と、たいた後の米の体積の比較

(P.46)



たく前(米)

たいた後(ご飯)

米がご飯になるまで

(P.46)

米に水と熱を加えると、ご飯になる。



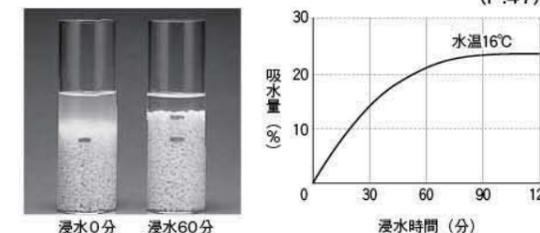
白米

吸水した米

ご飯

浸水時間と米の吸水量

(P.47)

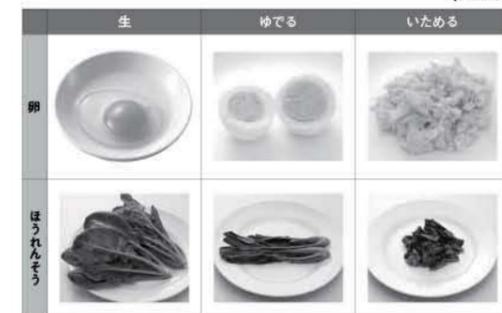


浸水0分 浸水60分

浸水時間 (分)

卵と野菜の加熱による変化

(P.71)



卵

ほうれんそう

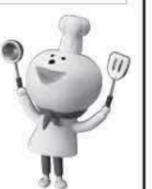
いため方によるちがい

(P.71)



強火で短時間

弱火でじっくり



衣服についた汚れを見る



(P.176)
1日着用したシャツ全体に、ニンヒドリン(薬品)をかけた写真である。ニンヒドリンは、汗や皮脂汚れに含まれるたんぱく質に反応し、赤紫に発色する。赤紫の部分が、汚れが多ついていることがわかる。

洗濯などの手入れで失敗した例を観察する

① 洗濯で縮んだセーター(毛)



② つり干しで型くずれしたセーター(アクリル)



③ アイロンの熱で縮み、穴のあいたズボン(ポリエステル)



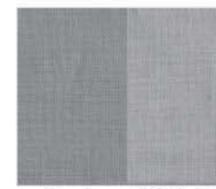
④ 色移りしたシャツ



⑤ 塩素系漂白剤で部分的に脱色したシャツ



⑥ 光で色あせたシャツ



元の色 日光であせた色

実験 汚れ落ちの観察

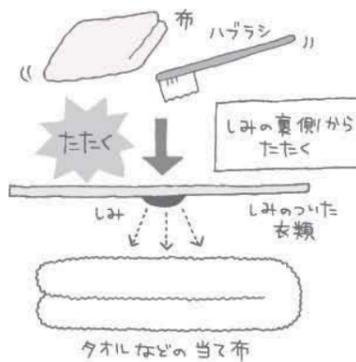


- ① 布を静かに水にしずめたら
- ② ①に液体洗剤を2・3滴加えたら
- ③ ②を強くかきまぜたら

汚れの種類によって落ち方がちがう。ポリエステルの場合の汚れ落ちはどうだろうか?

手入れの方法(部分的な手入れ)

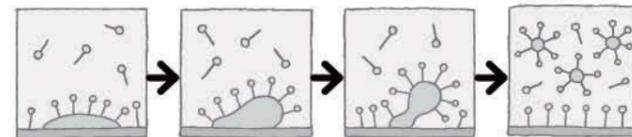
しみ抜き



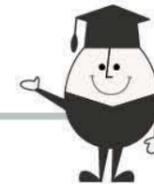
② (衣生活に関する学習)

【注記】 開隆堂の教科書で取り上げた主な実験・観察例。

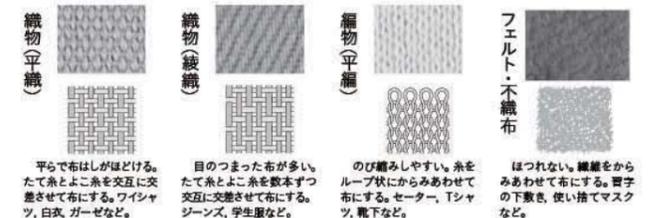
洗剤のはたらき



界面活性剤(洗剤の主成分)が、汚れや繊維の表面に集まる。界面活性剤が汚れを包みこみ、汚れが繊維から離れやすくなる。洗濯機や水流の力で、汚れが繊維から引き離される。汚れが水中に分散し、界面活性剤に包まれて、繊維に再付着しない。



探究 布の組織



平らで布はしがほどこける。たて糸とよこ糸を交互に交差させて布にする。ワイシャツ、白衣、ガーゼなど。
目のつまった布が多い。たて糸とよこ糸を数本ずつ交互に交差させて布にする。ジーンズ、学生服など。
のび縮みしやすい。糸をループ状にからみあわせて布にする。セーター、Tシャツ、靴下など。
ほつれない。繊維をからみあわせて布にする。畳の下敷き、使い捨てマスクなど。

発展

ウォームビズ素材とクールビズ素材
ウォームビズ素材の主なものに、吸湿発熱繊維があります。繊維が身体から発せられる水分を吸収すると、水蒸気の運動エネルギーが熱エネルギーに変換されて発熱し、温かさが保たれます。また、夏向けのクールビズ素材としては吸収した水分(汗)を素早く外に放出して快適性を保つ素材が使われています。



吸湿発熱の仕組み

参考 フェルト化

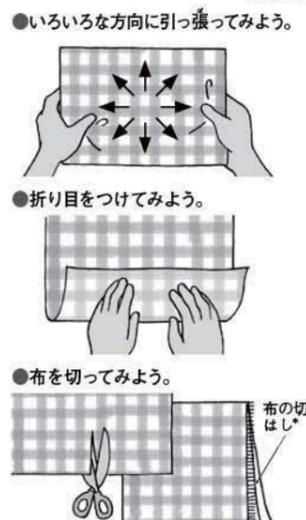
毛の繊維表面は、人の髪の毛と同じように、うろこ状のキューティクルが覆われています。水中ではキューティクルが開いて立ち上がり、水温が高かったり、強くもみ洗したりすると、キューティクル同士がひっかかり、繊維が絡みあいます。その結果、布が収縮しフェルトのようになり、元の状態に戻らなくなります。

羊毛繊維の顕微鏡写真

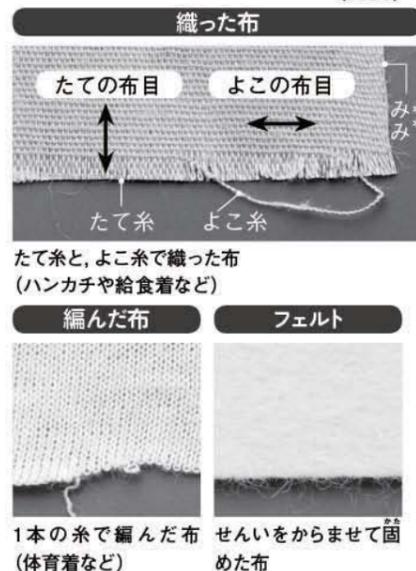


空気中 水中

布の特徴を調べる(紙と比べてみる)



布を細かく観察する



布の厚さによるあたたかさのちがい



布ののびやすさのちがい



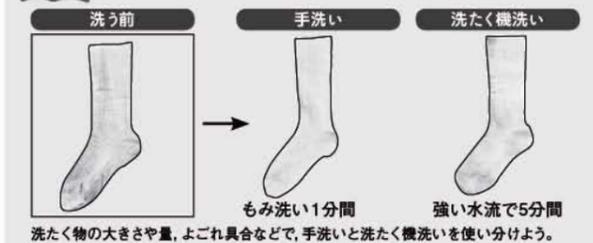
布による空気を通しやすさのちがい



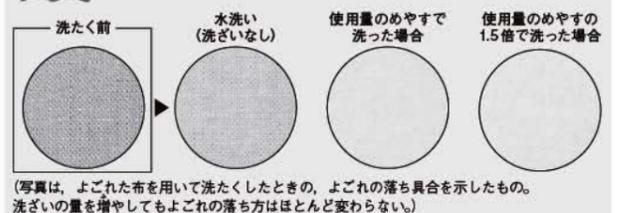
よごれによる水のみこみやすさのちがい



参考 手洗いと洗たく機洗い



参考 洗ざいの量とよごれの落ち具合

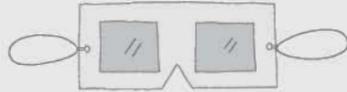


課題

高齢者や幼児を学校に迎えるための安全点検

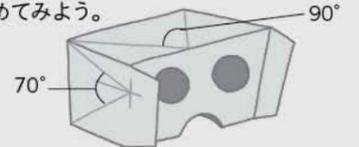
中学校は、中学生が安全に使うことを考えて設計されています。中学校に、ゲストとして幼児や地域の高齢者を迎えることを想定して、7図を参考に安全対策のための点検をしてみよう。

- 黄色いメガネをつくって、白内障の高齢者の見え方を確かめてみよう。



黄色いメガネは、厚紙でつくったメガネのフレームに、黄色のセロファンを二重にはってつくります。「トイレはこちら」など、高齢者の方にわかりやすい表示を考えよう。

- 幼児視野体験メガネを使って、幼児の見え方を確かめてみよう。

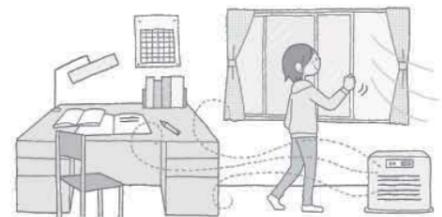


幼児の視線の高さでどのように見えるかしゃがんで確認してみよう。
 □ガス台の上に置かれたミルクパンの取手
 □扉を開けた状態の食器棚

CO

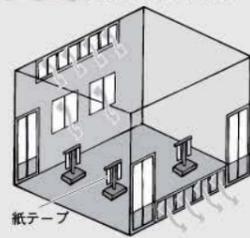
燃焼器具による一酸化炭素(CO)中毒

- COは不完全燃焼によって発生する。
- 無色、無味、無臭で、強い毒性がある。
- 微量でもCOを吸い込むと、急に身体が動かなくなり、意識不明に陥ったり、死に至ったりすることがある。
- 気密性の高い住宅では、換気をしないと酸素不足になり、燃焼器具の不完全燃焼による事故が多くなる。



自然換気の場合は1時間に1回、風がない場合は5分くらいあけておくようにする。

参考 教室の風の流れを見てみよう



紙テープなどを使って、窓をすべて開けて風通しを調べる。

調べてわかったこと

窓の開け方	温度	湿度
窓や戸をすべて閉めた場合		
窓や戸を片側だけ開けた場合		
窓や戸をすべて開けた場合		

調べよう

家や学校内のいろいろな場所の明るさやあたたかさを調べてみよう。



日当たりがよいところ(南側)とわるいところ(北側)



部屋全体と自分の机の上

場所	温度	湿度	明るさ(ルクス*)	気がついたこと
ろう下				
教室				

(*明るさの度合を表す単位)

③ (住生活や環境に関する学習)

【注記】開隆堂の教科書で取り上げた主な実験・観察例。

(P.163)

実験 日常生活の音を測ってみよう

騒音計を使って、次の場所の音を測ってみよう。

- ① 授業中の教室の中(だれか一人が話している場合)
デシベル*
- ② 休み時間の教室の中
デシベル
- ③ 部活動が行われているときの体育館の中
デシベル
- ④ 階段をのぼり降りする音
デシベル

12図▶騒音計



災害への備え 1週間分の飲食料(一人分)

(P.159)



実験 エネルギーを実際に測ってみよう

- ① ワットメーター(電力計)で消費電力を測定しよう
コンセントに取りつけてプラグをさすと消費電力が表示される。テレビや照明など、いろいろな家電を調べてみよう。
- ② あなたの家の1か月の電気使用量を調べてみよう
電気で熱を発生するアイロン、ドライヤー、電気ストーブなどは消費電力が大きい。むだな使い方を減らせば大きな省エネ効果がある。



11図▶ワットメーター

(P.237)

(P.80)

調べよう

部屋の中ですずしく過ごすために、風の通り道をつくるくふうをしよう。部屋の窓の開け方を換え、温度や湿度を実際に測って、感じ方を比べよう。調べるときの外の風の向きや強さも知っておこう。



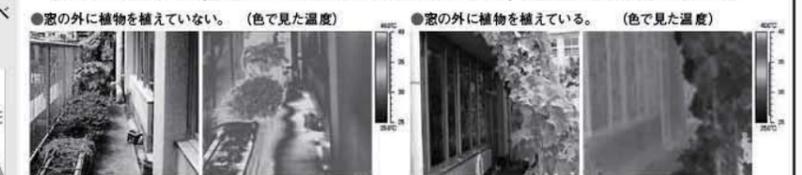
窓や戸をすべて閉めた場合 窓や戸を片側だけ開けた場合 窓や戸をすべて開けた場合

調べたこと
(例)むし暑い

(P.81)

植物を利用して熱をさえる

植物の葉は日光をさえぎり、葉から出る水分のはたきにより、周囲の温度を下げる。植物の葉の分布を調べる実験では、表面温度を測っている。赤いところは温度が高く、青いところは低いことを示している。



やってみよう

トライ! 夏のエコ生活

- 冷房の器具は必要なときだけつける。
- 冷房の器具は28度に設定する。
- すずしさを感じにくいときは冷房の器具とせん風機をいっしょに使う。
- 冷房の器具のフィルターを月に1回そうじする。
- 省エネルギー家電を活用する。
- 打ち水をする。
- ふろの残り湯を、洗たくや打ち水に再利用する。
- 衣服で暑さを調節する。
- 自分用のうちわを持つ。

話し合おう

すずしく過ごすためにできることを話し合い、家でもやってみよう。

窓をふさいで風の通りをさげらないように、家具の位置を変えてみたよ。



やってみたこと	感じたこと

教科書で示す「ガイダンス」的な扱い

3年間を見通す 中学校技術・家庭 家庭分野

- 小学校から中学校への橋渡し (小学校のふり返り・中学校での自立に向けて) (P.i-ii)
- 学習内容の全容 (もくじ P.iii-1)



- 家庭分野の学習のねらいを理解する (P.2-7)



- 家庭分野の学習のイメージをつかむ紙面 (内容 ABCD のイメージ・学び方) (P.8-9, 10-11, 60-61, 146-147, 148-166, 212-213)



2年間を見通す 小学校家庭

- 家庭科のイメージ



- 学習指導要領 A(1)アに対応する紙面 (本文)



教科書で示す「食育」の連携 (栄養学習の例)

- 栄養素のはたらきと食品 (中学生に必要な栄養素) → 食品と栄養素の関係 → 食品の概量と食品群別摂取量のめやす → 食事の計画・献立へ

(P.66~68, 72~74, 78-79, 80-81)



- 給食を導入にして、食品 → 五大栄養素のはたらきと食品のグループ → バランスのよい食事・こんだてへ



■他教科との関連と年間指導計画の例

【注記】 開隆堂の教科書による例。

他教科との関連	中学校 技術	
	時	「身近な消費生活と環境」「食生活と自立」及び「衣生活・住生活と
	1	家庭分野のガイダンス
道徳「他の人とのかかわり」 「集団や社会とのかかわり」	2 3	自分の成長と家族 わたしの成長と周囲の人びと
道徳「他の人とのかかわり」 「集団や社会とのかかわり」	4 5 6 7 8	家族や地域と わたしたちと家族・家庭と地域 これからのわたしと家族
保健体育 保健分野「健康な生活と疾病の予防」	9 10 11 12	健康と食生活
技術分野「生物育成」	13 14 15 16 17 18	食品の選択と保存 調理の計画をしよう 調理実習① ・野菜の調理 調理実習② ・生鮮食品の選び方と魚の調理 調理実習③ ・肉の調理
社会 公民的分野「私たちと経済」「私たちと現代社会」 社会 公民的分野「国民の生活と政府の役割」 技術分野「知的財産の保護」 理科 第2分野「自然環境の保全と科学技術の利用」 社会 公民的分野「よりよい社会を目指して」 理科 第1分野「科学技術と人間」	19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35	身近な消費生活と環境 家庭生活と消費 商品の選択と購入 よりよい消費生活のために 環境に配慮した消費生活 学習のまとめ
技術分野「電気機器の事故防止」	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	環境に配慮した衣生活 日常着の活用 日常着の手入れ 環境に配慮した衣生活 布を用いた物の製作 ・基礎縫い（ミシン縫い、まつり縫い、スナップ・ボタン付け）を活用した製作
保健体育 保健分野「健康と環境」	17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35	地球に優しい住生活 住まいのはたらき 健康で安全な住まい 住まいと地域 これからの住生活と環境 食生活と環境とのかかわり 地域の食材と食文化 調理実習（地域の食材を使った調理）
保健体育 保健分野「心身の機能の発達と心の健康」 道徳「集団や社会とのかかわり」 「他の人とのかかわり」	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	幼児の生活と遊び 幼児とのふれ合い 3年間のまとめ

・家庭 [家庭分野]	
自立」との連携をはかり、環境に配慮した生活を目指す	
かけがえのない自分 わたしの成長をたどる	
家庭のはたらき 家庭の仕事を支える社会 わたしたちの家庭生活と地域 中学生と家族とのかかわり これからのわたしと家族の関係	
食事の役割について考える 生活習慣と食事 中学生に必要な栄養食品と栄養素 食事の計画	
食品が食卓にのぼるまで 生鮮食品と加工食品 食品の表示 食品の選択・購入と保存 食品の安全と情報	
調理の計画 調理の基本	
青菜の卵とじ けんちん汁 筑前煮 ミネストローネ	
煮魚 ムニエル 焼き魚 つみれ汁 かば焼き	
しょうが焼き 煮込みハンバーグ 牛丼 シチュー	
消費生活のしくみ 商品購入のプロセス 生活情報の活用 購入方法と支払い方法	
契約と消費生活のトラブル 消費者を支えるしくみ 消費者の権利と責任	
自ら取り組むエコ生活 地域や社会での協力 持続可能な社会	
自分らしくコーディネート 衣服のはたらき 衣服の構成 衣服の入手計画と選び方	
衣服の汚れと手入れ 衣服の素材と手入れ 衣服の洗濯 衣服の収納・保管 衣服の補修	
製作しよう 縫う前に ミシンの準備 縫い合わせる 製作例 道具入れ ショルダーバッグ ファイルカバー ペットボトルホルダー 防災リュック ハーフパンツ	
住まいの様々な役割 共に住まう	
家族の健康と室内環境 家庭内の安全	
災害への備え 災害時の住まいと暮らし 地域に配慮した住まい方	
地域の食材と郷土料理 受け継がれる食文化	
幼児の体の発達 幼児の心の発達 幼児の心身の発達と家族の役割 子どもの成長と地域 幼児の遊びと発達 幼児の遊びを支える 幼児と遊ぶおもちゃづくり	
ふれ合い体験の前に ふれ合い体験をする ふれ合い体験をふり返る	

小学校 家庭	
6年 (55時間)	5年 (60時間)
■わたしの生活時間 ①生活時間を調べよう ②生活時間をくふうしよう	家庭科の学習—2年間を見通して— ■わたしと家族の生活
■いためてつくろう 朝食のおかず ①朝食を考えよう ②いためてみよう	■はじめてみよう クッキング ①クッキングははじめの一步 ②ゆでてみよう ③野菜をゆでておいしく食べよう
■クリーン大作戦 ①そうじのしかたを見直そう ②そうじのしかたをくふうしよう	■はじめてみよう ソーイング ①針と糸にチャレンジ ②楽しい小物づくり
■暑い季節を快適に ①すずしい住まい方をくふうしよう ②すずしい着方をくふうしよう ③洗たくをしてみよう	■かたづけよう 身の回りの物 ①身の回りに目を向けよう ②整理・整とんをしよう ③物を生かすくふうをしよう
■楽しくソーイング ①つくりたい物を考えよう ②計画を立ててつくろう ③楽しく使おう	■やってみよう 家庭の仕事 ①できることを増やそう ②家族に協力して仕事をしよう
■くふうしよう おいしい食事 ①バランスのよいこんだてを考えよう ②身近な食品でおかずをつくろう ③楽しく、おいしい食事をくふうしよう	■わくわくミシン ①ミシンぬいにチャレンジ ②計画を立てて、つくってみよう
	■食べて元気に ①なぜ食べるのか考えよう ②五大栄養素のはたらき ③3つの食品のグループとそのはたらき ④ご飯とみそしるをつくろう
■共に生きる生活 ①わたしたちの生活と地域 ②わたしの気持ちを伝えよう ③考えよう これからの生活	■じょうずに使おう お金と物 ①わたしたちの生活とお金 ②お金の使い方を考えよう ③買い物のしかたを考えよう
成長したわたしたち 中学生に向かって	■寒い季節を快適に ①あたたかい着方をくふうしよう ②明るく、あたたかく住まうくふう
	■家族とほっとタイム ①楽しく団らん ②つながりを深めよう
	5年生をふり返り、6年生の学習へ

新教科書準拠教材

中学校技術・家庭科用

技・家ノート [家庭分野]

- 教科書に完全準拠している学習ノートです。
- 基本的な知識のまとめや学習の記録、課題の記録などができます。
- 自習課題、家庭学習の課題にも便利です。

中学校技術・家庭科用

技・家ハンドブック [家庭分野]

- 教科書に準拠した資料集です。
- 学習のポイント整理、より深い内容の理解に役立つ様々な資料を掲載しています。
- 自主的・実践的な学びを支えます。

評価が変わると授業が変わる

- 定価：本体 1,200 円＋税
- B5 判 / 112 ページ

- 教員養成大学のテキスト、中学校家庭分野の教師対象の教育書。元公立中学校教員 4 名が長年にわたって評価を意識した授業実践を繰り返した成果の記録書。
- 指導と評価の一体化をめざした多様な実践例に加えて、調理のレシピも掲載。



子どもがいきる家庭科

- 吉原崇恵 編著
(静岡大学名誉教授)
- 定価：本体 2,300 円＋税
- B5 判 / 224 ページ

- 児童・生徒を積極的に授業に向かわせる授業づくりを目指した教育書。
- あたたかくかつ、透徹した家庭科への期待が満ちている。



よくわかる技術・家庭科 [家庭分野] 学習指導要領 ビジュアル解説 授業への生かし方

- 編著 生野晴美 / 友定啓子 / 長澤由喜子
- 定価 本体 2,300 円＋税
B5 判 / 144 ページ
- 授業のイメージがわく題材や展開例、資料を交えて学習指導要領を丁寧に解説しています。
- 授業で使えるワークシートも豊富に紹介しています。



かるたで学べる食品と栄養素 食品・栄養かるた

近刊

- 定価 本体 2,000 円＋税
- カード 180 枚 (絵札・読み札：各 90 枚 うち白札各 6 枚)
寸法：58 mm × 85 mm 絵札：オールカラー



布を使った作品集

- 定価：本体 1,800 円＋税
- B5 判 / 64 ページ

- 授業の準備のしかたや保護者への通信例など、被服製作指導の初歩から解説した手引き書。
- 基本的なものから応用・発展的なものまで豊富な作品例をカラーとイラストで紹介。



楽しくスクールソーイング

- 一般社団法人 日本家政学会
被服構成学部会 編著
- 定価：本体 2,000 円＋税
- B5 判 / 88 ページ

- 製作手順をわかりやすく解説。中・高校に対応した製作指導作品集。



技術・家庭科 家庭分野教授用資料 AE



開隆堂出版株式会社 <http://www.kairyudo.co.jp>

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘 1 丁目 13 番 1 号 TEL.03-5684-6111 [代表] / 03-5684-6116 [編集]
北海道支社 〒060-0061 札幌市中央区南一条西 6-11 札幌北辰ビル 8 階 TEL.011-231-0403
東北支社 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町 1-11-1 萩野町 M ビル 2 階 TEL.022-782-8511
名古屋支社 〒464-0802 名古屋市中区星が丘元町 14-4 星ヶ丘プラザビル 6 階 TEL.052-789-1741
大阪支社 〒550-0013 大阪市西区新町 2-10-16 TEL.06-6531-5782
九州支社 〒810-0075 福岡市中央区港 2-1-5 FYC ビル 3 階 TEL.092-733-0174